

令和2年度 指定管理業務 実績評価シート

部課名 市民生活部市民協働課

施設名	サンライフ弘前
施設の設置目的	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図るため。
所在地	弘前市大字豊田一丁目8番地1
指定管理者名	「サンライフ弘前」管理運営委員会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
1 事業計画の実施状況	<p>施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね適正な管理運営が実施されている。</p>
2 自主事業の実施状況	<p>新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、「初心者ヨーガ教室」(全4回実施・参加者36人)を実施した。地域住民の健康づくりにつながった。</p>
3 市民サービス向上のための取組状況	<p>トレーニング室では、高齢者への事故防止の配慮を行っているほか、初心者へ機械器具の使用方法を説明し、混乱を招かない工夫がされるなど、安全管理に努めている。</p> <p>また、玄関への手指消毒用アルコールの設置、検温の実施、利用団体代表者に対する利用者の連絡先把握の声掛け、換気の実施等、新型コロナウイルス感染症対策に努めている。</p>
4 市民ニーズの把握の実施状況	<p>利用者からの意見を把握するためアンケート調査を実施しており、施設設備の要望があった。そのほか、積極的に口頭による聞き取りも行っている。</p>
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	<p>令和2年度の利用許可件数は1,702件、利用者数は45,749人となっており、ともに前年度を下回る数値となっている。(参考:令和元年度 利用許可件数2,050件、利用者数56,649人)</p>
6 指定管理業務の収支状況	<p>施設の管理に支障がないよう経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。</p>

7 実地調査の結果

施設内外の維持管理、各種書類の作成・保管の整理、経理の状況等適正に実施されていた。

8 成果指標の達成度

利用件数・・・目標件数2,558件に対し、利用件数が1,702件のため、達成度は66.5%
利用者数・・・目標利用者数74,543人に対し、利用者数が45,749人のため、達成度は61.4%

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	A	利用者への配慮と円滑な施設運営を心がけている。	利用者のニーズとサービス向上に努める。
施設の管理	A	安全管理を徹底している。	施設設備管理等の徹底を図る。
経理の状況	A	金銭保管を徹底している。	継続する。
団体の財務状況	B	特になし。	問題なし。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	A	トレーニング室では高齢者への声掛け、初心者への丁寧な説明を実施し、利用者の安全確保に努めているほか、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、自主事業を実施している。	今後も、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、適正な運営に努めていただく。
施設の管理	A	利用者の安全を第一に、老朽化している施設内外の環境美化や維持管理を徹底している。	今後も、適正な管理に努めていただく。
経理の状況	B	経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。	今後も、適正な経理に努めていただく。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も、安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する